

# 経済産業省における 衛星データの利用に関する取組紹介

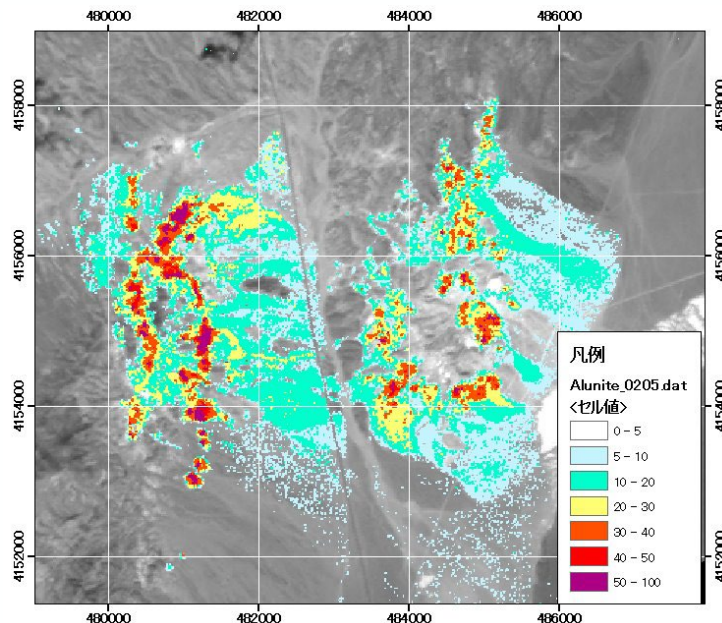
令和 7 年12月

経済産業省

# 1. 経産省関連の取組

1. 研究開発事業としては、産業技術総合研究所にてJAXAの大量の**ALOS-2データ**を活用した**高速・高効率処理技術開発**や**衛星データから斜面災害リスク地域を抽出する研究**を実施。
2. 衛星データを活用した取組としては、鉱物資源探査等への利用を目的に、ハイパースペクトルセンサ「HISUI（Hyperspectral Imager SUite）」を開発。広い波長領域を細かい間隔で185個に分割し、それぞれを同時に観測することが可能なセンサ。2019年からISSに搭載し、今年度末まで撮影予定。
3. JOGMEC※では、HISUIデータも活用しザンビアをはじめとする南部アフリカ等と共同地質調査を行っている。

※独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構



- データ解析により、金属資源探査の手がかりとなる**鉱物の分布を広域に把握**することが可能。
- 地表にどのような物質があるかをほぼ**断定**することが可能となり（**30種類程度**）、資源の埋蔵可能性をより正確に判定できる。

## 2. (1) 宇宙戦略基金について

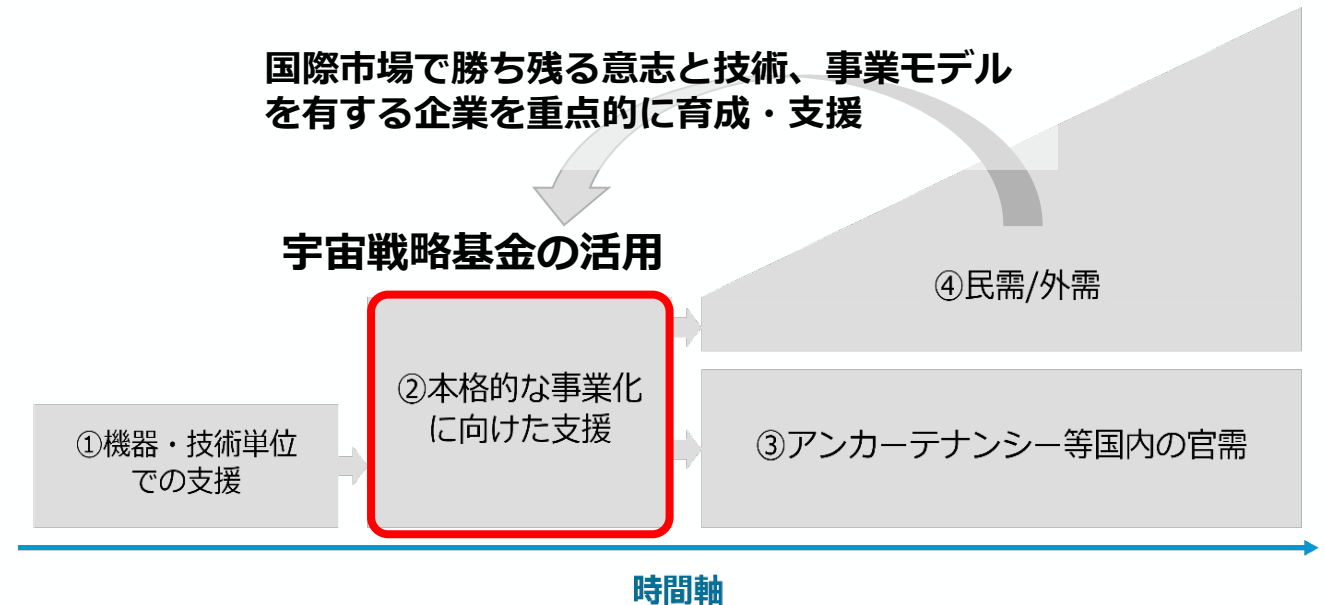
1. 令和6年度補正分の宇宙戦略基金において、本格的な事業化につなげていくことを目的として、衛星データ関係事業として、176億円を計上。
2. 2030年度までを目途に、10件程度の国際競争力のあるソリューションの社会実装の実現および、それを支える多種・多量な衛星データが利用できる環境の構築を目指すとともに、我が国企業の衛星システムのデータが「選ばれる」ことを目指す。

### 宇宙戦略基金（経産省担当）のうち

#### 衛星データ関係事業 衛星データ利用システム 実装加速化事業

- 支援総額：176億円
- 採択予定総件数：36件程度
- 最長支援期間（SG）：1～5年（2年目）
- 公募締切：2025年10月2日

**審査中**



## 2. (2) 懸賞金型事業について

1. 懸賞金型事業では、衛星画像データと多様な情報を組み合わせて、衛星データを活用した新たな技術やサービスの創出を促すことを目的とし、既存の枠にとらわれない多様なアイデアを広く募り、特に新規参入者やスタートアップなどの挑戦を後押しする仕組み。
2. これまで「サプライチェーン」や「環境」といった社会課題をテーマとして設定。
3. 現在、農林水産省と連携し、「農林水産」の分野のテーマを2つ設定し、実施中。
4. 次回のテーマは、「都市計画/社会インフラ」の分野を予定。



### NEDO Supply Satellite Data for Green Earthの概要（前回の事業）

#### ➤ 応募テーマ

- ①カーボンクレジット基盤構築  
(グリーン・ブルーカーボン等)
- ②エネルギーマネジメント基盤構築  
(風力・太陽光等)
- ③気候変動・環境レジリエンス基盤構築  
(火災・水害・生物多様性等)

#### ➤ 懸賞金額（各テーマ）

- 1位1000万円
- 2位400万円
- 3位200万円
- 審査員特別賞60万円

- 全体公募67件
- 最終表彰された12チームの内、スタートアップ・個人参加が9チーム